

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 感染症対策衛生資材確保事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部感染症対策推進課 医療機関支援第二係 電話番号：058-272-1111(内3345)

E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 41,554 千円 (前年度予算額： 62,947 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	62,947	0	0	0	0	0	0	0	62,947
要求額	41,554	0	0	0	0	0	0	0	41,554
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・次の感染症危機に備え、県内の入院医療機関の想定消費量の1か月分を計画的に備蓄し、県内の診療体制の崩壊を未然に防ぐ。
- ・令和4年10月19日開催の岐阜県感染症対策専門家会議において新たな備蓄目標(品目、備蓄量等)について、専門家から意見を聴取した。
- ・今回、ここでの意見を参考に新たな備蓄目標を定め、衛生資材の購入を行うものとする。
- ・資材の使用期限切れによる一括廃棄を防ぐため、備蓄目標数量の3分の1の量を3年かけて分割で購入する。

(2) 事業内容

○医療用資材の購入

- | | | | |
|-----------|------------|-----------|---------|
| ・サージカルマスク | 234,000枚 | ・N95マスク | 24,300枚 |
| ・医療用ガウン | 83,600着 | ・フェイスシールド | 25,300個 |
| ・非滅菌手袋 | 1,795,200枚 | ・防護服 | 50着 |

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

(4) 類似事業の有無

国による無償配布

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	41,554	消耗品費（衛生資材購入費）
合計	41,554	

決定額の考え方

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

令和4年6月17日の政府新型コロナウイルス感染症対策本部において、次の感染症危機に備えるための対応の方向性として、医療用物資等の確保の強化に関して、「国、都道府県等、多様な主体による平時からの計画的な備蓄を推進」していくことが決定された。

（2）後年度の財政負担

使用期限の超過による衛生資材の廃棄を防ぐため、毎年度分割購入と使用期限が近づいた衛生資材の配布を繰り返すことから、毎年度備蓄目標数量の3分の1の購入経費が発生する。

（3）事業主体及びその妥当性

県内の医療提供体制支援のために行う事業であり、県主体が妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

衛生資材の需給バランスがひっ迫した場合においても、入院医療機関が正常に稼働するために、衛生資材を購入する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

備蓄目標※	事業開始前	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
①サージカルマスク (枚)	0	23,400	234,000	234,000	234,000	33%
②N95マスク (枚)	0	24,400	24,300	24,300	24,300	33%
③医療用ガウン (着)	0	83,700	83,700	83,600	83,600	33%
④防護服(着)	0	50	50	50	50	33%
⑤フェイスシールド (個)	0	25,400	25,300	25,300	25,300	33%
⑥非滅菌手袋 (枚)	0	1,795,500	1,795,300	1,795,200	1,795,200	33%

※県内入院医療機関の想定使用量の1か月分

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>
令和 3 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>
令和 4 年度	<p>県内入院医療機関の衛生資材想定使用量1か月分の備蓄目標数量の3分の1を購入することができた。</p> <p>指標① 目標：備蓄目標の3分の1 実績：備蓄目標の3分の1 達成率：33 %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	衛生資材の需給バランスがひっ迫した場合に備え、入院医療機関用の衛生資材を購入する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	衛生資材の需給バランスがひっ迫した場合に備え、入院医療機関用の衛生資材を購入する必要があり、事業として有効。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 2	備蓄目標数量の3分の1ごとに分割して購入することにより、購入した衛生資材の使用期限が一斉に切れることを避けるようする等、効率化が図られている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 在庫を循環させるためには、毎年度購入する必要がある。 今後、使用期限を超える資材の処分方法を検討する必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 備蓄目標達成に向け、継続して購入する。 今後の政府行動計画改定の内容に合わせて、適切な備蓄内容及び方法について検討していく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【〇〇課】